

署名が力に

「中学校給食を実現する会」が市長と懇談

給食を求める声が大ききことは認識している……
教育委員会に検討チームをつくり、
今後、広く市民との議論の場をもちたい。

宮本市長が前向きな発言

「中学校給食を実現する会」は20日、宮本市長に「中学校給食を求める要望書」を手渡すとともに懇談しました(写真)。参加者からは、「なぜ中学校給食を求めるのか」交々語られました。宮本和宏市長は「たくさんさんの署名を集められたことに敬意を表します」「教育委員会に検討チームを立ち上げ、市民と広く議論していきたい」と前向きな回答がありました。



実現を求める署名は1万5000筆を超えました

この日の懇談には、「実現する会」だけでなく、「ぜひ中学校で給食を実施してほしい」と願う子育て真最中の保護者ら17人が参加。「会」事務局長から、保育園・幼稚園やスーパー前、各地域を訪問して、現在守山市民で1万3834筆、市外も合わせると1万5347筆の署名が寄せられていることが報告されました。

一生懸命署名に取り組んだ保護者からは「働く保護者が増えている。ひとり親の家庭や、朝お弁当もたせられない家庭もある。中学校給食は親も子も、とても助かる。ぜひ実現を」など切々と語られました。

こうした声に、宮本市長は「給食を求める声が大ききことは認識している。女性が社会で活躍できる環境づくりは大事と思う。できない理由は財政的なこと。ランニングコストが年間1億3千万円ほどかかると試算している。この捻出に市民が納得して頂けるのか。今後アンケートをとるなどして、広く市民との議論の場をもちたい」と語られました。一筆、一筆の署名の力が実現の大きな力になっていることを実感しました。

市民の願い実現に全力

階段に手すりのない市営久保団地



「せめて、階段に手すりを」守山市営住宅

雇用促進住宅



県営住宅

守山市営住宅は現在、340戸ありますが、老朽化している堀海道団地や岡・中ノ庄団地の建て替えや廃止、また新たな整備について、検討されているところですが、当面整備計画のない播磨田町の久保団地(90戸)は、エレベーターのない5階建て。入居している住民の高齢化が

進み、高層階にすんでいる住民から、エレベーターの設置が要望されています。「せめて、階段に手すりを」の声。高齢者にとっては、毎日の階段の上り下りが本当に大変。バリアフリーの観点からも、その願いは当然です。早急な対応が求められます。



要望が実現しました。

守山6丁目の水路には転落防止柵がなく、「川にはまったら危険」との声を受け、地元自治会からも市に働きかけたことを受けて、このほど「反射板」(写真)が設置されました。

日本共産党

守山民報

守山市議会議員

小牧一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web/

守山市議会議員

松葉栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 682号

2014.10.22

TEL 583-8552

FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。